



市長 村越 祐民

千葉県 市川市



誰もが個々の能力を生かしながら健やかに、生き生きと暮らせる「健康都市いちかわ」を目指しています。

【データ】

- 人口
488,714人
- 世帯数
244,984世帯
※平成31年3月31日現在
- 特産物
梨・海苔

市川市の紹介

市川市は、千葉県の西部、江戸川を隔てて東京都と相対する千葉県の玄関口です。都心から20km圏内に位置し住宅都市として発展してきました。都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網の集中する位置にあり、JRなど鉄道各線の駅が16あります。また、東西方向の幹線道路である京葉道路や国道14号のほか、昨年6月には市内を南北に縦断する東京外かく環状道路（外環道）が開通するなど、広域的な道路網が形成されています。

交通アクセスの良さから、首都圏のベッドタウンとなっておりますが、北部には梨栽培など農業が盛んな地域があります。また、古くは八幡・菅野地区は高級住宅街として栄え、屋敷街を形成しています。付近には学園が多く、文教都市としての特徴も備えています。南部は、東京湾に臨み、海苔の産地として知られていますが、京葉工業地帯の一翼も担っており、新しい都会的な住宅都市が形成されています。

市川市のみどころ

●市川市動植物園



人気者のレッサーパンダやオランウータンなどを中心に約60種430点の動物が飼育・展示されています。中でも、「流しかワウソ」は注目の的。日本の夏の風物詩“流しそうめん”にかけて設置された台をコツメカワウソが遊んで滑る姿はとても愛くるしいです。併設されたバラ園には約1,100株のバラがあり、咲き誇る姿は圧巻です。

●市川の梨

千葉県は全国一の梨の生産地であり、その中でも市川市は市町村別産出額がトップクラスの梨の一大産地です。市川市内で栽培される梨は、その知名度や歴史などが総合的に評価され、平成19年8月に特許庁の地域団体商標登録「市川のなし」として地域ブランドの認証を受けました。「市川のなし」はスーパーで販売されるほか、農家の直売所から宅配便などで全国に配送されています。特に直売所が多く集まる国道464号線は、梨収穫時期には多くの人で賑わいます。みずみずしく高品質で食味の良い「市川のなし」をぜひご賞味下さい。



健康都市に向けた取り組み

●市川市健康都市推進講座



(講座の様子)

平成 17 年度から、市川市内にある和洋女子大学の協力のもと、健康に関心を持つ市民を増やし、健康都市の考え方を地域に普及することを目的として、市川市健康都市推進講座を開催しています。

この講座では、運動や食などの「人の健康づくりに関すること」や、市川市の産業や文化、まちの環境などの「人を取り巻く環境づくりに関すること」について、幅広く学べます。

また、全 7 回の講義のうち 5 回以上受講された修了者の中から希望者を「市川市健康都市推進員」として委嘱しています。

●市川市健康都市推進員

市川市健康都市推進員は、健康都市推進講座を修了し、講座で学んだ知識をいかしながら、行政と協働で健康都市を推進するため、地域の健康づくりのリーダーとして活動しています。

主な活動は、市民の健康の保持増進に関することについての正しい知識の啓発や情報の提供、環境美化運動、地域福祉活動などです。

また、平成 23 年度より市川市健康都市推進員会を発足し、活動を行っているほか、自主的に任意団体を立ち上げて地域に密着した活動を展開したり、個人で様々なボランティア活動に参加したりしている方もいます。

平成30年11月23日（金・祝）に市川ヘルシーパートナーズ事業として、第2回健康フェスタを開催しました。健康フェスタは、地域住民に向けた健康に関するイベントで、体力測定や健康都市推進員会メンバーが講師となったタオル体操のほか、防災に関する講演会を行いました。防災に関する講演会では、実際に東日本大震災を経験された方に避難所における健康管理や災害に備えて日頃から出来ることなどをお話して頂きました。



(タオル体操の様子)



(体力測定の様子)

担当：市川市 保健部 保健医療課健康都市担当室

TEL 047-712-8642 FAX 047-712-8740